

氏名	鹿嶋 桃子 (カシマ モモコ)
所属	市立名寄短期大学児童学科
職名	講師
研究室連絡先	電話 (01654)2-4199(内線 3306) FAX E-mail kashima@nayoro.ac.jp
ホームページ URL	

学歴	帯広畜産大学畜産学部畜産環境科学科卒業 北海道大学教育学部教育学科卒業 北海道大学大学院教育学研究科修士課程教育学専攻修了 北海道大学大学院教育学研究科博士課程教育学専攻在学中
職歴	2005年4月～2006年3月 北海道保育総合専門学校非常勤講師 2005年4月～2006年3月 北海道ハイテクノロジー専門学校非常勤講師 2006年4月～現在 市立名寄短期大学児童学科講師
学位	教育学修士 (北海道大学)
免許・資格	(はるか昔に) 日本実用英語技能検定 準1級
研究分野	発達心理学
現在の研究課題	幼児はどのように振る舞い, 会話をし, 「ごっこ遊び」を創り上げていくのだろうか, ... ということを考えています。長じて, 人間は元々どのような存在で, どのように発達して いくのか? ということを探求する“ふり”をしています。
主な担当科目	言葉 乳幼児保育 表現 (言葉)

研究・教育業績	(2005年度以降のものです。) 〔学術論文〕 Emergence of creativity and improvisational conversation in pretend play. (Joint paper) <i>Annual Report</i> , 28, 41-50. Research and Clinical Center for Child Development, Graduate School of Education, Hokkaido University. 〔口頭発表〕 2005年 9月 「ごっこ遊びはなぜ面白いのか」(連名発表) ISCAR 第1回国際会議 (セビリヤ) 2006年 9月 「ごっこ遊び状況が生成される過程についての研究: フレームにみ る発話連鎖パターンの分析から」 日本教育心理学会第48回大会発表論文集, 468. 〔国際シンポジウムにおける話題提供〕 2005年 9月 「創造性の創発と子どものごっこ遊びの即興性について」(連名発 表) ISCAR 第1回国際会議 (セビリヤ)
---------	--

学会活動	日本教育心理学会会員 (2003年4月～) 日本発達心理学会会員 (2005年4月～) International Society for Culture and Activity 会員 (2005年4月～)
------	--

コメント	<p>(簡単な自己紹介)</p> <p>帯広生まれの帯広育ちでしたが、長い大学時代に5年間の札幌生活を送りました。現在は、名寄に居住しております。</p> <p>振り返ると、この5年で、3つの市町村に居住したことになります。</p> <p>ちなみにこちらに赴任してからは、若い学生の感性の鋭さに圧倒される日々です。そんな学生たちから力をもらい、教え-教えられる毎日です!</p> <p>専門は発達心理学です。子どもを研究対象とする者として、子どものように失敗(リジェクト)を恐れず、堂々と成長し続けていきたいです。</p> <p>名寄市の保育・教育にお役に立てるよう精進いたしますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
------	--